

# ウィリアムソン・ディッキー・ジャパン・リミテッド 日本法人設立を機にSAP® ERPを導入し 3カ月で統合的な情報基盤を確立

## 業種

ディッキーズブランドによる  
各種ワークカジュアルウェア商品販売

## 本社

東京都港区

## URL

[dickies-jp.com/](http://dickies-jp.com/)

## ソリューション

SAP® ERP

## 活用分野

財務会計、販売管理

## 導入パートナー

株式会社アイ・ピー・エス

1922年の創業以来、米国発のワークカジュアルブランドとして世界中で支持されてきた「ディッキーズ」。その日本法人として2011年に設立されたウィリアムソン・ディッキー・ジャパン・リミテッドでは、わずか3カ月での事業立ち上げを目指して、月額利用料型のクラウドサービスでSAP® ERPを導入。北アジア地域の中核を担う拠点として、**少人数で運用可能な体制**を早期に確立し、事業拡大の中でもITコストを抑制しています。

## 導入の背景

- 日本法人立ち上げによる、代理店からの業務引き継ぎ
- 短期間での垂直立ち上げが可能なパッケージを活用
- 少人数での運用体制を早期に確立

## SAP選択の理由

- グローバル企業の要件レベルを満たすパッケージ
- 世界で採用実績を持つSAPブランドの信頼性
- クラウドサービスによる迅速なシステム整備が可能
- すべての業務をシームレスに連携
- 海外拠点との連携などの拡張性

## 導入成功のポイント

- 必要業務を網羅したパッケージ選択でフィット&ギャップを省略
- クラウドならではの迅速かつ容易なセットアップで垂直立ち上げ
- 業務プロセスを自動化して社員のパフォーマンスを最大化

## 導入効果

- 事業を拡大しながら人件費などの固定費の増大を抑制
- 自社でのシステムメンテナンスなどの作業が不要
- ルーティンワークを自動化し、本来の業務にリソースを集中
- 全国および海外の拠点とのデータ/コミュニケーション基盤の実現

## お問い合わせ先

[www.sap.com/japan/contactsap/](http://www.sap.com/japan/contactsap/) | 0120-786-727 (受付時間: 平日 9:00~18:00)

50000040 (SE/17/03) © 2017 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、SAP SEまたはSAPの関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製または伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SEおよびその顔ぶれ業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は、いかなる種類の表明または保証もなして、情報提供のみを目的として、SAP SEまたはその関連会社によって提供され、SAPまたはその関連会社は、これらの文書に関する誤記脱略等の過失に対する責任を負うものではありません。SAPまたはその関連会社の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。特に、SAP SEまたはその関連会社は、本書もしくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、またはそこに記述される機能を開発もしくはリリースする義務を負いません。本書、もしくは関連の提示物、およびSAP SEもしくはその関連会社の戦略ならびに将来の開発物、製品、および/またはプラットフォームの方向性ならびに機能はすべて、変更となる可能性があります。SAP SEもしくはその関連会社により随時、予告なしに変更される場合があります。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、もしくは機能を提供するという確約、約束、または法的義務には当たりません。将来の見直しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見直しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依頼するべきではありません。本書に記載されるSAPおよびその他のSAPの製品やサービス、ならびにそれらの個々のロゴは、ドイツおよび/またはその他の国におけるSAP SE(またはSAPの関連会社)の商標もしくは登録商標です。本書に記載されたその他の製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する詳細の情報や通知に関しては、<http://global.sap.com/corporate-en/legal/copyright/index.epx>をご覧ください。

## 日本法人の立ち上げを契機に ERPで経営基盤システムを構築

「ディッキーズ」のブランドでワークウェア/ワークカジュアルウェアを展開するウィリアムソン・ディッキー・ジャパン。同社の商品は国内に約20店舗あるディッキーズのオンリーショップに加え、約9,000店の小売店でも販売されています。さらに中国にも180店舗を擁する人気ブランドとして、幅広い層から注目を集めています。

ウィリアムソン・ディッキー・ジャパンは、代理店によるライセンス展開を引き継ぐ形で日本法人として設立されました。2012年1月の事業開始にあたって、同社は基幹システムを早急に構築し、新しい運用体制をゼロから立ち上げるというチャレンジに直面しました。1月の商品初出荷はすでに決まっていたため、業務の引き継ぎまでに日本法人側のシステムを立ち上げ、スムーズに業務を受け渡して継続しなくてはなりません。財務会計、仕入れから出荷までの販売管理など、必要最低限の事業を法人の営業開始と同時にすべて引き継げる基幹システムを、極めて短期間で構築する必要がありました。

また、グローバル連携も重要でした。米国本社との日常的な連絡に加え、北アジア地域の中核拠点としての役割を担う日本法人では、多言語対応や多拠点とのコミュニケーションをサポートできるシステム基盤を備えておくことが必須要件でした。

そこで同社は、「必要最低限の業務を垂直立ち上げ可能なERPパッケージの活用」、「迅速かつ

容易にセットアップできるクラウドサービスの採用」、「少人数のスタッフでの運用が可能」というコンセプトを掲げ、パッケージの選定を進めました。

## 業務品質と内部統制の両面で グローバル水準を満たすSAP ERPを採用

ウィリアムソン・ディッキー・ジャパンは短期間のうちに約20社のベンダーに問い合わせ、必要な機能を網羅しているERP製品を絞り込みました。最終的にSAP ERPを、導入パートナーのアイ・ビー・エスが提供する月額利用料型のクラウドサービスで導入することを決定します。

同社の最高責任者である北アジア プレジデントの平山真也氏は、「当社はグローバル110カ国以上で販売する外資系企業です。必然的に導入するシステムも、業務品質と内部統制の両面でグローバルの求める水準に耐えうるものでなくてはなりません。そうした考え方と機能の充実から見て、SAP ERPはむしろ当然の選択肢でした」と語ります。

さらに同氏は、グローバルレベルでのガバナンスも含めてすべてをカバーできる統合的な情報基盤を整備し、「将来的に、それを世界各国の拠点と連携していくことも視野に入れていた」と明かします。

その後システム構築に要した期間はわずか3カ月と、初めてのERPとしては異例のスピード導入です。財務会計や販売管理などの基本的な業務はSAP ERPの標準機能を極力カスタマイズせずに活用。また、事業計画の中で決められていた

システム初期投資1,000万円未満での立ち上げを実現するにあたって、クラウドサービスの活用も欠かせないポイントでした。

## ビジネスの飛躍的な成長の一方で 人件費などの固定費を大きく抑制

日本法人立ち上げから約6年が経過した2017年現在、SAP ERP導入の大きなメリットは、コストの抑制効果だったと平山氏は評価します。国内でのビジネス規模が約2倍に成長したのに対し、本部スタッフの数は日本法人設立当時からそれほど変わっていません。ビジネスの成長とともに業務負荷が増えていくにもかかわらず、システムを活用して効率的に処理することによって、人数でカバーすることなく業務のパフォーマンスを維持できているといいます。

「もちろんそれはERPだけの効果ではなく、業務のアウトソーシングやマネジメントそのものの工夫といった複数の要因に支えられているものです。しかし、本部コストや固定費の増加がかなり抑えられているという成果にはSAP ERPも役立っていると考えています」(平山氏)

今後ウィリアムソン・ディッキー・ジャパンでは、SAP ERPが備える豊富な機能と、蓄積してきたデータをさらに活用していきたいと考えています。

「システムで作業を自動化して、少ない人数でも効率的に顧客満足度の高いサービスを提供できる点は、ERP活用のメリットだと考えています。また、ERPには統合的にさまざまな情報が入っていますので、これまでいろいろな取り組んできたことではありますが、さらに情報を活用して利益拡大につなげていきます」

ビジネスの基本は、あくまでお客様の満足を提供する点にあり、業務を滞りなく、効率的に進めるインフラとしてシステムの活用は不可欠と語る平山氏。少数精鋭で成長を続けるウィリアムソン・ディッキー・ジャパンは、さらに新たなビジネス展開を見据えています。

「グローバルにビジネスを展開する当社のシステムは、業務品質と内部統制の両面でグローバル水準に耐えうるものでなくてはなりません。そうした考え方と機能の充実から見て、SAP ERPはむしろ当然の選択肢でした」

平山真也氏 ウィリアムソン・ディッキー・ジャパン・リミテッド 北アジア プレジデント



The Best-Run Businesses Run SAP®